



# 近畿支部会報2016年5月号

この度、九州で大きな地震がありました。今も余震が続いています。サーバス九州支部の方も被害にあわれました。どうかこれ以上の被害が出ませんように。どうぞ健康を取り戻して下さい。一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

新緑の美しい5月となりました。春の花が咲きそろい、戸外の楽しい時です。Tさんの報告にもありますように、菜の花祭りに続いてKさんが例会場にどうぞと言って下さったKさんの500坪の農園の下見に行きました。綺麗な花々、美味しそうな野菜、名も知らない珍しい果樹、良くおひとりでされていると、ほとんど感心しました。是非、皆で出かけたいたいです。

いつも会報作成時にグループメールでサーバスゲストの受入れを知らせてもらっているのですが、今回はアナウンスするや、次から次へと受け入れ者の報告がありました。こんなに受け入れて下さっているのかと、嬉しい限りです。又、九州支部よりの地震被災者支援の募金に対しては、毎年サーバスの年会費は直ぐにお払い下さるけれど、さして活動されていない会員さんが、真っ先に「サーバスファミリーの一員として些少ではありますが応援の気持ちを送らせていただきます。」と支援金を送って下さいました。そして、国際交流が大好きで、サーバスだけでなく、カウチサーフィンも受け入れていただける会員さんは、その大好きな外国人受け入れを中断して、九州地震の被災者家族を受け入れていられます。皆様からの嬉しい報告で私の心は温かさが満ちています。サーバスは個人と個人の結びつきから平和を目指す、私も改めてサーバスの縁を大切にしたいと思いました。

さて、近畿支部では日本モンゴル障がい児交流キャンプの準備を進めています。ご参加下さる障がい児親子はお若く、アイデア一杯です。6月の例会ではキャンプ参加者全員集合を目指しています。皆さんどうぞ温かく見守って下さい。

今回の会報は、次の内容でお届けします。

1、菜の花祭り	生駒市	T.S
2、トラベル報告	フロリダの印象	京都市 H.T
3、トラベラー受入れ報告	新年パーティ	京都市 K.K
	イタリアからのお客様	芦屋市 T.K
	寒の戻りの高野山	堺市 O.N
	3か国からのトラベラー	和泉市 A.K
	ショート メッセージ	大津市 W.A 生駒市 T.S
4、会員交流「北から南から」	フレンドシップフォース大阪クラブについて	和泉市 A.K
5、お知らせとお願い		支部長

## 1 菜の花祭り

生駒市 T.S

毎年春に菜の花が咲くこの頃に、生駒市の南外れに位置する西畑町の棚田で 奈良コープ主催で地元西畑町と棚田クラブの協力で、生駒市西畑の「菜の花祭り」が開かれます。その昔、生駒山脈を東から

西に抜ける街道が南と北に2本ありましたが、そのうちの一本が急峻な暗がり越えの街道でした。伊賀上野を出た芭蕉は、初瀬街道を通過して奈良に抜け、赤膚から本陣のある追分峠を越えて生駒谷に、そしてこの山深い暗がりを越えて大阪に入りました。芭蕉が西畑村を通ったのは、秋の節句の頃でした。「菊の香や 暗がり通る 節句かな」清流の流れる神田川の辺に腰を下ろしてふと眺めやったのは、辺りに黄色く咲きこぼれる野路菊だったに違いありません・・・ 西畑はそんな歴史の香るところです。



この4月17日、今年もお声がかかりましたので、下手な僕のオカリナでこの祭りの前座の余興を務めることになりました。その日の午前中は小雨の予報が流れていましたので、思ったより参加者が少なく反ってゆったり出来ました。そんな中、ゴム長靴姿の中老のオカリナ吹きは一体どのように映った事か心配です。かつてのオカリナ仲間や棚田の仲間も来てくれました。サーバスメンバーのA様ご夫婦と支部長が遠いところお越しいただき感謝です。皆さんありがとうございました。

さてこのイベントは3時間ほどで終わりましたので、前々から一度訪れたいと思っていたサーバス会員のKさまの自然農園を4人で訪れました。Kさまの農園は有名な浄瑠璃寺からほど近い小高い山に包まれたとても綺麗なところでした。瀟洒な別荘の直ぐ前に広がる彼女の農園には、沢山の花々が咲き乱れまるで楽園の様です。お家の中は床も壁もふんだんに無垢の天然木が使われて素敵でした。ともあれ、何時出会っても気心の知れた旧友のように打ち解けることのできるサーバスメンバーとの一日は良いものでした。 平成28年4月30日



## 2、トラベル報告

### フロリダの印象

### 京都市 H.T

寒い冬、今年はフロリダに行くことにしました。マイアミの親類と今まで我が家に泊まれたサーバスメンバー4軒の訪問は簡単に決まりました。後はホストリストでホスト探し。そこでわかった事は、マイアミ周辺はカナダや:ニューヨーク等寒い所に住んでいる人の避寒地であり、又、オーランドはディズニーワールド等でにぎやかだけど、その他は自然一杯の所にポツンと人が住んでいたり、町があり、交通は自家用車がないと難しいという事です。車を運転しない私はホスト探しに疲れてあきらめようと思ったものの、従妹がフロリダにいる主人はあきらめないで、どうにかホストを見つけての旅立ちでした。



### マイアミ

マイアミは地方都市と思ったら大間違い。高層ビルの立ち並ぶ立派な大都会でした。町のあちこちから大道芸人が色んなパフォーマンスをしていて、ホント、楽しい所です。

**Ft. Lauderdale (マイアミの近く) Mr.& Mrs.I. P 訪問 1/8 ステイ 1/24~26**

8 日、I 夫妻所有のヨットで、運河沿いの停泊地から海へ優雅な航海を楽しみました。湾や運河沿い



はヨットを持つ世界中の大富豪の邸が立ち並んでいます。門から屋敷までは距離があり、庭師が常駐しています。上には上がある、凄いの一言でした。日本人の人生目的が少し変わったにしても仕事為主、ヨーロッパの人たちは余暇を楽しむために働くと思っていました、ここはそんな中途半端なものではなく、「これぞわが人生」という感じでした。

24 日から私たちがバスでキーウエストに行く事を知ると、バスでは途中下車出来ないからと 1 泊で自家用車で案内して下さいました。キーとはサンゴ礁で出来た島の事で、フロリダキーズと言って、マイアミからフロリダ海峡を西へ 50 の小島が橋で結ばれています。天気も良く、視界の上半分は空、下半分はコバルトの海のドライブを楽しみました。最終地のキーウエストはヘミングウェイが愛して住んだ所で、彼の家には今も 6 本指の猫の子孫がいました。町はマイアミより一層楽しみの要素が満ち溢れていて、全く地上の楽園でした。私たちはマラソンという所に泊まり、キーズの生活を満喫しました。

**Davie (マイアミ近く) 親類 1/5~8 1/20,21 1/27,28 (サーバスではないので、詳細省略)**

**Paisley Mr.& Mrs. M. K 1/9, 10**

Paisley はオーランドの近くで自然一杯の所、着くや早速マカティという哺乳類が水中に住む Blue Spring Sate park を案内して下さいました。マカティは人魚のモデルで、いるかのような顔、悠々と泳ぐ姿はとても可愛いです。そして、町を散策してから郊外の自然豊かな彼らの家へ。庭は湖に通じているという素敵な所でした。でも、夜には熊が出てきてゴミ箱をあさっていました。主人が釣りをしたいと言うと、2 日間ランチを持ってカヌーで川下り、いろんな魚や珍しい鳥、アリゲーター (小さいわに) もいて、自然を満喫したとても楽しい日々でした。



**Gainesville Mr.& Mrs. D. A 1/11~13**

Gainesville にはフロリダ大学があり、町中が大学でした。それでバスの便もよく、バスで出かけました。彼らのお勧めは Kahapaha Botanical Garden でしたが、私たちにしたら手入れの行き届かない大きな庭園でした。それより、大学付属の美術館や博物館の素敵な事、Butterfly Museum では孵化させた何種類もの蝶が飛び回っており、Natural History Museum には私たちが見た事もないような素晴らしい日本の陶器がありました。ホストの家は町中なのに、まるで森にいるようなログハウス、ホストも一見魔女のような立派ないでたちで食事は 1 点豪華主義、日本の肉のような美味しいビフテキ、丸 1 匹のサーモンのソテイ、1 日中煮込んだとろけるような豚肉に秘伝のソース、それはずっと家に伝わる料理だそうです。世界中のワインがあり、お土産にくれたワインにはコルクの栓明けまでセットされているという行き届いた配慮でした。私たちが日本からという事で、九州にいられた隣人を呼んで下さったり、とても熱いもてなしでした。

**St. Augustine J. A 1/14, 15**

St. Augustine はアメリカ初期の町で、今も古い町並みが残っていて、アメリカ人自慢の町です。J の家は郊外の風光明媚な海岸辺りにあります。家の壁には 1 面に友達が絵を描いていて、とても個性的な家でした。町まで車で送迎してくれての観光でした。彼らのお勧めは Flagler College と言って昔の貴族の屋敷が大学に使われている所です。なるほど美しい所ですが、ヨーロッパに行けばこの何倍も美しい所は一杯あります。歴史の浅いアメリカ人の好みがありました。それよりも良かった所はサンマルコ

スの砦と海賊博物館、入植が始まって以来、どんなにして町を守ってきたか、昔の人のすごい迫力を知りました。夕食、最初の日はいルミネーション輝く町を楽しむために町のレストランで食べましたが、次の日は料理上手の友達に来て、テラスでステーキディナーをしてくれ、海に沈む夕日を見ながら非常にリッチでした。

### とんだハプニングが



ここまでは非常に順調でした。16日の朝、非常に濃い霧でした。朝バス停についてのバスが来ません。J がバス会社に聞いてくれた所、霧のために遅れているとの事、バス停には駅員もいず、私は連絡方法もわからないので、心細くてバスが来るまで J に一緒にいてもらいました。バスは 2 時間弱遅れて来ました。もう、Tallahassee へ行くバスには乗り継ぎ出来ない時間になっていました。とりあえず、乗り継ぎのバス停まで行きました。駅で事情を言うと、「少し待っていなさい」との事。詳しいアナウンスはありませんが、ごったがえっているからおとなしく待っていました。すると、係の人が「いらっしやい」と呼びに来てくれました。見るとタクシー、バス会社の費用で Tallahassee まで送ってくれるのです。何とラッキー、Tallahassee にはたった 30 分遅れただけで着きました。

### Tallahassee Mr.& Mrs.J. J Day Host Mr.& Mrs.G. W 1/16,17

まず行ったのは History Museum, この展示の仕方は独特で、展示用の建物に続いて広い敷地に当時の生活がそのまま再現してあります。畑では実際に農業が行われ、鍛冶屋では鉄を溶かして生活用品を作っています。実際に人が住んでいて、昔に戻った様でした。こんな素敵な博物館は初めてでした。翌日は Wakulla Spring State Park に行きました。この湖にはカルスト地形による水中洞窟があり、そこから水が吹き出していて透明度は抜群、きれいな水を守るために用意された観光船以外に個人で湖に行く事は禁止されています。水中の魚、飛んでくる鳥、変わる景色、40 分のボートの間、飽きる事はありませんでした。

ある人は Tallahassee って何もない所よと言いましたが、彼らが自慢する St. Augustine よりずっと素敵でした。ホストは我が家にも来られた事のある方で、色んな種類の美味しいディナーを御馳走して下さいました。

### St. Petersburg Mr.& Mrs. S-F.N 1/18.19 W.F 1/20

St. Petersburg は全米のベストビーチに選ばれるほど美しい白い砂浜がずっと続くビーチが売り物です。海の鳥、犬の散歩、ヨガに興じる人等を見ながら、目も覚めるようなビーチを 1 日中歩きました。次の日はダリ美術館、ダリのコレクションとしては世界最大の 1300 点があります。シュールレアリズムの彼の作品を見飽きるほど見て、彼の発想力のすごさに感嘆しました。



N は有機野菜等食べ物に気を付けていて、手の込んだスープを作ってくれました。一方 W は料理は卒業、今日はレストランから食事をとるので、それなら私が日本料理を作るといって、友達も呼んで次から次へと作った料理を平らげてくれました。彼女は歳をとり今はサーバス旅行をしないけれど、今までサーバスで良くしてもらったお礼にホストをしていると言っていました。

この次に Ft. Myers に行く予定でしたが、急きょ受け入れられなくなったとフロリダに来てからメールがあり、車がないと観光が難しい所なので、あきらめて親類に帰りました。

帰国の数日前、すごい雪がニューヨークに降り、飛行機が飛んでいない事が報道されました。私の帰国便はニューヨーク経由、おまけに旅行保険に入っていない。ニューヨークに住んでいる姪に聞くと、外には出られず、学校も全て休校との事。どうしよう?? でも、帰る日は無事でやれやれでした。

フロリダは自然一杯でどこにでも可愛い動物がいます。でも、人が自然と共に生きているかと言えばそうではない。例えば、ニューヨークと比べると土地は安いので大きな家が持てる。間取りが大きいから掃除機ロボットで掃除は事足りる。又、人件費も安いので、細かい掃除等は自分でなくて人を雇う。大型スーパーがあるから買い物も便利、誰一人として野菜畑など作ってはいず、非常に現代的な生活でした。Iはマイアミ近くのマンションに住んでいます、そのマンションに1年中住んでいる人は30%で、後は北の方から避寒にやってくる人の物でした。親類は日本人で日本好みなので、彼らと行ったレストランは良かったですが、他のレストランは量はたっぷり過ぎる程あるものの全く美味しくない。一度、蛙やわにのフライを食べましたが、厚い衣でどれも同じ味でした。



色んな事を体験したり、感じた旅でした。こうして書いていると、親切にして下さったホストの顔が浮かびます。出会いを大切にこれからもサーバスの活動を続けていきたいと思っています。

### 3、トラベラー受入れ報告

#### 新年パーティ

京都市 K.K

1月5日6日 アルゼンチン L.P & P.M

お正月早々、Kさんからお電話があり、諏訪から京都に来られる予定で、ホテルが予定されていたのが5日のみ取れなかったそうで、急遽のお願いでしたが、受け入れ不十分のまま来ていただきました。アルゼンチンの予備知識がまったくないので、南米に詳しい友人のEさんに来ていただき、思いがけない楽しい会話とお食事の新年パーティができ幸せでした。LとPはイタリア系で、明るくてフレンドリーなカップル。Eさんのお陰で会話も弾みました。翌日以後の京都滞在中の観光のアドバイスをし、短い滞在で残念でしたが、ホテルへお送りしました。Face bookのお陰で、京都滞在中の楽しい報告もしてくれ安心しました。京都の後は、九州から韓国に行かれるそうでした。各地でServasの良い出会いがあったことを祈っています。



#### イタリアからのお客様

芦屋市 T.K

日頃、LOIの表示が無かったので受け入れはしなかったのですが、B.Dさんが近畿支部のOさんの友人だとの事で、4月11日(月)12日(火)二日間の受け入れをしました。1942年生まれ、ローマ在住の歴史の教師をリタイアして旅行が大変お好きで世界を旅している人でした。

4月11日(月)は阪神三ノ宮駅で待ち合わせをして神戸ハーバーランドの観光船と花が咲き乱れる公園を散策して、お昼は日本食を食べて B さんにご機嫌でした。我が家の夕食はたこ焼き Party で素朴ですが楽しい夕食を食べて頂きました。



4月12日(火)は丹波にある「兵庫陶芸美術館の明治有田焼」に行き、庭園内の Cafe でワインを頂きました。明治政府が作成した温知図録等の新図案をもとに革命的な有田焼が創設されます。明治時代に活躍した香蘭社が、万博博覧会への出品作品や、皇族、華族が使用した洋食器 154 件が展示されていました。彼女は美術書を買いました。

翌日は H さんの家に夕方集まり、Italy ミラノからの他の二人と O さんと共に東福寺を見学しました。

Dear K

I finally rested and put in place the valigia. The stop in Beijing went well, but in the end the plane to Italy would not start and so they found me a direct. My flight arrived Sunday in the night.

I regret the timeliness and accuracy of Japanese trains!

Once again thank you for the hospitality and acceptance .It was a great trip and my fears for the language, the different habits proved unfounded.! Unfortunately there was an earthquake that struck your countrymen, and that will bring even pain and upheaval, until the tremors do not finish. A warm greeting and goodbye. B

### 寒の戻りの高野山

L.V イタリア(ローマ) 女性 3月23日から3泊

70歳のLさんはローマの最高裁で秘書として長年の勤務のあと60歳から年金生活を謳歌しています。若い頃からアートにも興味があり退職後、彼女のアパートの一室を約一ヶ月かけて天井から四方の壁をテンペラ画で装飾したそうです。

我が家に到着翌日は車で高野山に案内しました。途中で橋本に住む私の友人を訪ね、その友人は染色家なので彼女の工房など見学させてもらい、柿の葉寿司の昼食をご馳走になりました。その後、その友人も一緒に高野山まで行きましたが、寒の戻りの日でもとても寒く、しかも高野山は標高800メートルなので全員震え上がりました。でも奥の院や金剛峰寺など興味深そうで喜んでもらえました。

翌日は彼女一人で大阪城、海遊館などに行き帰宅後、夕食は近くのお好み焼き屋さんに行きました。お好み焼きは初めてとかでもとても気に入ったようでした。

堺市 O.N



### 3か国からのトラベラー

L(f) F(f) Mexico 2/13-15 2泊3日

一宮のKさんから電話があり、Fがベジタリアンですよって教えてもらいました。私は、レターはよく読んでいなかったもので、ちょっと慌ててしまいました。Lが、途中、たけのこの水煮を2種類買い求めてきて、これはどう料理をするのか聞いてきました。それを炊き込みご飯のおにぎりと炊き

和泉市 A.K



合わせにして野菜中心の献立を考えました。我が家の台所でアボガドを見つけて、ワカモレ・・・アボガドとトマトと玉ねぎをみじん切りにして混ぜ合わせて、ディップを作ってくれました。夕食時、マルガリータを飲んでいて私達にそれはメキシコのテキーラをベースにしたお酒だと教えてくれました。

JR パスを持っていたので、エヴンゲリオンの新幹線の乗り方、姫路城の見学等をアドバイスしました。日本の冬を楽しんでいました。彼女たちはフェンシングスクールで剣道も教えていました。

### メキシコあれこれ（おまけ）

1. ポインセチアはメキシコ原産です
2. アボガドも同じです…アボガドをすりつぶしていろいろ混ぜて、トルティーヤやタコスにつけるディップを作るそうです。ワカモレと言うそうです。
3. だから、アボガドを使ったカリフォルニア巻きは、メキシコ巻きというのが正しいかもしれません？
4. コーラを世界で一番飲んでいるのがメキシコです。ただし、サトウキビを使っているので味がもつといいようです。
5. 子供向けの施設、キッザニアは、メキシコから始まって世界に広まっています。
6. シーザーサラダは、メキシコのシェフが考案しました。
7. 江戸の初め、千葉県の御宿にメキシコ船が座礁して日本人に助けられました。（和歌山とトルコの関係と同じです）
8. Lは、トリオロスパンチョスの「その名はフジヤマ」を知っていました。

### 韓国からのトラベラー



E, J-RさんとK.Sさんが、札幌の国内会議に参加されていました。帯広で温泉に入り観光して、我が家に泊まって、韓国に帰る予定だと電話がありました。二人とも、日本語が堪能で、日本のサーバスメンバーと親しくされていたようです。我が家にも何人か韓国の方が来られていたので聞いてみるとご存知でした。2001年に私達は韓国に行った時のアルバムを見ながら、時間を忘れていろいろな話をしました。是非、釜山にいらっしやいと誘っていただきました。帰国後、無事着きましたと、丁寧に電話していただきました。お土産にいただいた、コチュジャン、サムジャンを食べながら、韓国を懐かしく思いました。

### ローマからのトラベラー

Wさんを4月19日から21日まで泊めてもらえないかと、Oさんから電話がありました。関西空港から帰るという事でした。日光から我が家に。5時過ぎ駅に着き、電話があり迎えに行きました。イタリア・ローマ在住で、図書館で借りたガイドブックを見ながら、話をしてくださいました。ピッツェリア・エノテカ（ワインバー）・ジェラテリア（アイスクリーム店）、ローマ市内観光、簡単なイタリア語を教えてくださいました。いつもは、お友達と旅行するそうですが、今回は、一人での旅だったようです。日本国内で撮った写真を見ながら話をしました。最中をお土産にもらって、一緒に食べました。関西空港から煙台經由北京に行くために、駅に送っていただきました。いつでも、遊びにいらっしやいと誘っていただきました。



## ショート メッセージ

大津市 W.A

F.F Germany 3月24日

3月24日、26年前にホストをしたドイツ人家族のうちの一人が30歳の青年になって来日。当時4歳の幼児で我が家に4泊、滞在中にドイツの統合があり、大変感動的でした。忘れずに再会できてサーバス万歳でした。我が家は満杯でデイホスト、東本願寺の内部見学をしました。

### 生駒のTです

4月19日～21日、レ・ユニオンからMs. M.Mさんが来られました。21日朝パリに向けて無事お帰りになりました。大変お元気な方で、我が家のPCも自在に扱われていました。また日本の文化に対して好奇心も旺盛で、良い印象を残されたご様子でした。

## 4、会員交流—北から南から—

フレンドシップフォース 大阪クラブについて

和泉市 A.K

フレンドシップフォースとは、1977年に当時のカーター米国大統領が提唱し始めた活動です。その目的は、「ホームステイを通して、お互いの文化の違いや考え方を理解し、友情を深めて世界の平和に貢献していこう」というものです。

大阪クラブは、1983年スタートし、年1回（1週間単位）ホームステイの受け入れや渡航（1週間のホームステイ）の活動を行っています。会の活動は、すべて会員のボランティアによって支えられています。これまで交換した相手は、アメリカ・カナダ・ブラジル・オーストラリア・ニュージーランド・韓国・シンガポール・タイ・インドネシア・インド・イギリス・ドイツ・ベルギー・オランダ・チェコ・ハンガリー・ロシアなどの国々です。

現在、日本には25クラブがあります。フレンドシップフォースの国際本部は、米国ジョージア州アトランタにあり、現在、世界60か国、約400のクラブが参加する組織になっています。この会員は世界中に友達を作ろうという気持ちで集まっている仲間で、どんな宗教や政治団体とも無関係です。また、受け入れや渡航は、その国の人々と友達になるため、観光や営利が目的の旅行ではありません。そのため、ホームステイ中は、個人の責任において行動しなければなりません。家族で参加できます。保護者と一緒なら、18歳未満の子供も渡航に参加できます。渡航する場合は、アトランタ本部と相手クラブなどへFeeを支払うことになります。渡航中のホームステイでは、個人にかかる費用は必要です。相手クラブも無償のボランティアで受け入れてくれます。

ホームページ <http://ffosaka.pro.tok2.com/>

私は家族で、1983年にアメリカ・ワシントン州に2週間初めてホームステイした時から参加しています。

今年度の活動は、5月14日～21日にオーストラリア・ノースモートンより17名が来られます。歓迎パーティと大阪城ウォーキングツアーとクルーズ・京都ツアー（バスで清水寺・平等院・伏見稲荷大社）・地域デー（神戸グループ・京都グループ・大阪グループ）・フリーデー（3日）。渡航は、8月17日～29日までカナダ・マニトバにホームステイと観光に行きます。

インドネシアのウェディングに参加

2013年8月、フレンドシップフォース大阪クラブとインドネシア・ジャカルタクラブとの交流で、AとLさん宅で1週間ホームステイしました。イスラムの風習は初めてでしたが、暖かく受け入れをしていただきました。

2015年の10月に、泉州だんじり祭りを見るためにジャカルタから友達になったI親子3人が我が家に遊びに来てくれました。AとLさんが、2016年4月9日に息子のOが結婚するとの事で、私達に招待状を持って来てくれました。スラバヤでの結婚式にすごく興味があり、すぐにOKの返事をしました。泊まる場所を聞くと、ゲストハウ



スに親戚も泊まるので一緒に泊まるように言ってくれました。空港まで迎えに行くとあげるとメールしてくれました。夫の単衣の着物を知り合いに誂えてもらいました。お祝いをネットで調べたり、聞いたりしながら、メイドインジャパンの物を探して、珪藻土で作っているバスマットを購入しました。日本のお祝い袋に現金を入れ、親戚の人も集まる為に、お菓子を何種類か用意しました。

4月7日は、春の嵐の吹く雨模様の中、関西空港9時にやっと着きました。ガルーダで手続きして、審査場に入るのに長蛇の列に並びました。デンパサール行の飛行機は、最終搭乗中でした。やっと、座って出発を待ちました。デンパサールの空港では、国内線まで1kmの距離を移動しました。スラバヤでは、AとLが待っていてくれました。「来てくれてありがとう。私達の大事なお友達なのよ。」と、何度も言われました。懐かしい再会でした。結婚式は、新婦側の方で準備するためにスラバヤになったそうです。職場が一緒で知り合ったので、結婚の為に新婦Aは退職したそうです。近況を話しながらディナーをして、ゲストハウスに行きました。

8日は、朝食後、結婚式の会場を見に行きました。森をイメージしていました。本当は、外でしたかったのですが、最近の天候は不安定で雨が多いため、屋内になったそうです。新婦の両親にも会いました。スラバヤ市内に観光に出かけました。毎週金曜日の12時には、男性はモスクでのお祈りがあり、Aと運転手の2人は出かけました。道路は、何重にも駐車していました。駐車場に停めたり、渋滞したりしている道路に出る時等、誘導してくれる人がいる場合はお金を渡していました。ランチは、ごはんの上に、アヒルを香辛料の味付けをして油であげていました。右手を使って食べました。香ばしくてサクサクして美味しかったです。露店に出ていた果物を買ってもらいました。夕食の時間まで、AとLさんは、親戚を迎えに行ったり結婚式の準備をしたりと忙しくしていました。私達だけで、散歩に行きました。近くのFree WiFiのあるところで、コーヒー2杯6000Rp(60円)を頼み、ネット検索しました。夕食は、親戚の人達9人と有名な黒いスープを食べに行きました。かまぼこ?テンペ、えびせん?そして、ごはんを食べましたが、支払いは、自己申告でお店の人がチェックして会計で支払っていました。

9日は、親戚の人達と朝食後、私達だけで散歩に出かけました。昼食を済ませて、着物に着替えました。3時にゲストハウスを親戚の人と一緒に車で出ました。結婚式会場は、すっかり森になっていました。日本から来たということで、皆さんに親切にして頂きました。ジャワスタイルの結婚式は5部構成になっていました。親戚の参列者は、親族ごとに決まった色の衣装を身につけていました。布地を選んで渡して、それぞれにオーダーしてもらおうそうです。

第一部;両家が向き合って、新郎側の代表が結婚の申し込み?新婦側の代表が受諾。両家の母親同士がプレゼント交換。両家の父親同士がプレゼント交換。新郎が水を受け取り、レイをかけてもらう。

第二部；場所を移動。大きなデスクをはさみイスラム教の関係者、新婚の届けを受領する市の担当者、新郎の父親、承認、コーランを吟じる人が席に着く。列席している人は、男女両側に分かれて、別々に座る。コーランの後、新郎は誓いの言葉？お祈り、やっと新婦が加わる。婚姻の契約書の署名の儀式、パスポートの様なものを受け取る。両家の両親と一緒に記念写真、新婦が新郎の手に口づけ？指輪の交換、記念写真、新婦側の家族と記念写真、新郎側の家族と記念写真、新郎の祖母とその姉と記念写真、私達とも記念写真。

第三部；新婦の父が新郎新婦を赤い布でくるんで、壇上に連れて行く。新婦の母親が後ろを支え、その後ろに新郎の両親が続く。新婦の父親の膝に新郎が座る。新婦と新婦の母親が両側、新郎は袋の米を新婦の袋に入れる、その米を新婦の母親に渡す、スプーンで新郎が新婦に食べさせる、新婦が新郎に食べさせる、新郎が新婦に水を飲ませる、新郎新婦が裸足になって、新婦の両親に挨拶する。

第四部；新郎新婦、両家の両親がお色直しを済ませ、壇上に並んで挨拶の儀式。居住共同体の関係性も濃密なこの国では、当然家族血縁の関係もいまだ強く維持されている。ほんとうに沢山の両家の親戚、友人知人が参列し、新郎新婦を個別に祝福する。壇上に位置する新郎新婦のもとへ両家の親戚たちがそれぞれの家族単位で挨拶に上がり、そして皆と一緒に記念写真をおこなう。ブーケトスをする。

第五部；友人や近隣も招待する立食形式のパーティ・・・生演奏、歌あり。

今日の参列者は約1500人で、準備した食事は3000人

結婚式も終わり、AとLはホッとしていました。私達は、先にゲストハウスに車で送ってもらいました。素敵な結婚式でした。

10日朝食後、AとLさんは、親戚の皆さんの対応に忙しくしていました。私達は、午後3時に待ち合わせをして散歩に出かけました。信号のない所の横断を考えていたところ、小さな店番のおじさんがSTOPの札を出してくれて渡れました。Free WiFiのあるファストフード店でソフトクリームとサンデー16000Rp（160円）を食べ、ランチは、ナシゴレンとミーゴレンと飲み物で、44000Rp（440円）。路地を歩いていると知っている塔が見えたので、このあたりからゲストハウスに戻れると思ったのに、なんだか遠くになり・・・足も痛くなってきたので、駐車場整理の方にゲストハウスの場所を尋ねました。場所が遠くなっているので、タクシーを呼んで下さいました。2.6km、15500Rp（155円）でゲストハウスに数分で着きました。AとLさんと一緒に空港に行きました。お別れしてデンパサール経由で11日関西空港に着きました。前日の暖かさから、急に寒くなり震えていました。家に帰り、ゆっくりとお風呂に入りました。

## 5、お知らせとお願い

### 支部長

- \* 次の例会は2016年6月26日（日）午後1時30分より、モンゴルキャンプ参加者激励会を兼ねて、大阪長居障がい者スポーツセンターで行います。詳しいご案内は後ほどしますので、よろしくご予定下さい。
- \* 東日本震災被災者支援保養の取り組みは、今年新たに受け入れて下さるホストがいらっしゃいませんでしたので、新たに募集する事は止めて、今まで来て頂いていた被災者の方にお世話して下さいました。W.A会員より連絡をし、受け入れることになりました。
- \* 九州熊本での地震に対して、日本サーバス九州支部が被災者支援のために募金活動をされています。ご協力をよろしくお願い致します。

\*2016 年度サーバス年会費（一般3000円 学生2000円 休会者B1500円）をまだお払い  
頂いていない方は、次の口座へ宜しくお願ひします。

口座番号00990-6-33645 加入者名 日本サーバス近畿支部

以上